

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	◎	－	－	－
(四国)	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、巣籠り消費が再び増加しており、その恩恵を受けている。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用されたことによる買い込み需要の増加がみられる。
	○	スーパー（財務担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が適用されたことにより、外食や大型ショッピングセンターから地域のスーパーマーケットに客が流れてきている。
	○	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・気温に恵まれていることが影響しているためか、前月に引き続き売上高は堅調に推移している。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数は前年同月比で減少傾向にあり、大変苦しい状況である。また、当地域ではまん延防止等重点措置が適用されており、客の滞在時間も減少している。
	□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・飲食店が時短営業や休業をするなかで、アルコール飲料の販売数が減少している。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・当地域にまん延防止等重点措置が適用されたことにより、来客数が前年比5%減少した。
	□	コンビニ（総務）	来客数の動き	・天候や気温等の要因もあるが、新型コロナウイルスの感染が再拡大することに比例して業績も悪化してきている。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・当地域は、まん延防止等重点措置が適用されたため来客数が減少傾向にある。
	□	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・新車の契約をしても、半導体不足と新型コロナウイルスの影響で生産がストップしており、売上につながらない。
	□	乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・新型車の発売はあるが、来客数や販売台数に大きな変化は感じない。
	□	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・当地域は、まん延防止等重点措置が適用され、客の動きが停止している。来客数は少なく、法人の新規受注件数も減少傾向にある。
	▲	商店街（事務局長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染の脅威に対して、政府や行政は大局的な判断ができておらず、小出しの場当たりの対応に終始していることから、いつまでも感染の収束には程遠い状態である。また、それらに振り回され続けている国民の生活や経済は今後が見通せない。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の終息が全く見通せず、業種によっては影響が数年後も続くと思う。
	▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・ネットや法人向けの注文は堅調に推移しているが、まん延防止等重点措置が適用されたことにより、来客数は減少し、店頭売上は落ち込んでいる。
	▲	百貨店（営業管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響により、お盆は帰省客が少なく、更にまん延防止等重点措置が適用されたことにより来客数が減少した。
	▲	コンビニ（商品担当）	お客様の様子	・夏のイベントが軒並み中止となっており、販売したチケットのキャンセルや返金等の作業に追われ疲弊している。
	▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・季節商材以外の動きが鈍い。また、商品によっては納期未定状態が続いているものもある。
	▲	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・天候の悪い日が多く、季節家電や白物家電商品の売上の落ち込みが大きい。
▲	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・ガソリンや軽油の値上がりや長雨による野菜の高値、地方での新型コロナウイルスの感染再拡大など、景気が悪くなる要因が多くなっている。	
▲	通信会社（営業部長）	来客数の動き	・客が不要不急の来店を控える傾向にある。	
▲	通信会社（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、市場が鈍化している。	
▲	競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルス変異株のまん延により来客数が減少している。ネット経由の利用者数は増加しているが、来場者による売上高の減少分をカバーできるまでには及ばず、全体的に減少傾向にある。	

	▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・当地域でまん延防止等重点措置が適用されたことにより、更に客の外出自粛傾向が強まった。
	▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・客の外出自粛で来客数が減少している。
	▲	設計事務所（所長）	来客数の動き	・商談や打合せに来る客が激減している。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス変異株のまん延により、新規感染者数が急増しており、客が外に出てこない。
	×	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	来客数の動き	・東京オリンピックの開催と長雨の影響で、来客数が大きく落ち込んだ。
	×	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの第5波に加え、東京オリンピック、長雨と客の入店に影響する事象が大きく、売上は非常に悪い。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大による近隣事業所の休業や、お盆時期の長雨等の影響により売上は激減した。天候が回復した後も、客の行動自粛により売上回復には至っていない。
	×	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用により、来客数と売上高が前年を下回る水準で推移しており、店舗の撤退等も考慮しなければならない状況となっている。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・帰省客は少なく、土産物屋や飲食店は稼ぎ時にもかかわらず閑散としている。加えて、新型コロナウイルスの変異株のまん延により、来客数は激減している。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・コロナ禍による所得の減少や外出自粛により、外食需要が減少している。
	×	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用に伴い、宿泊施設でも酒類提供が制限されたことにより、大きな打撃を受けている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が再度増加しており、客の乗車率が悪くなっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・当地域はまん延防止等重点措置が適用され、時短営業が休業している店が多く、飲みに出る人もほとんどいなくなっている。新型コロナウイルスの感染が再拡大しているため、遍路客も来ておらず、引き続きの厳しい状況である。
	×	通信会社（社員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が急激に増え、当県独自の警戒レベルが上昇したことにより、経済活動が明らかに衰退している。
	×	観光遊園地（職員）	来客数の動き	・当県独自の警戒レベルが引き上げられ、まん延防止等重点措置も適用された。時短要請や酒類の終日提供不可などの措置により、飲食に訪れる客や商店街への買物客が減少している。
企業 動向 関連  (四国)	◎	—	—	—
	○	農林水産業（職員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスや長雨の影響により来客数や売上高は前年を下回っている。また、夏場は生鮮品の入荷が少ない時期であり、更に軟弱野菜を中心に例年と比べ少ない入荷となっている。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が再拡大しており調達資材の安定入荷は不透明な状態であるが、受注量は回復している。
	○	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量が回復傾向にある。
	□	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・猛暑が続いたお盆休み前は、店頭での売上が活発であったが、8月半ばからは天候不順や豪雨に加え、緊急事態宣言の発出、まん延防止等重点措置の適用地域の拡大により急速に市況が悪化している。小売店や商業施設への人出が激減し、多くの小売店から仕入れを控えているという声も聞こえる。
	□	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最多となっており、首都圏だけでなく地方でも増加している状況である。

	□	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・各国の経済対策により、市場マインドは上向きつつあるが、地域的なばらつきが大きく、全体として本格的な景気回復には至っていない。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・令和3年度の公共事業は順調に発注されてきており、業界の景況は悪くない。事業活動においては、リモート会議や感染対策を講じることで、新型コロナウイルスによる影響を軽減できているものの、親睦会や交流活動、対面の研修会や講習会、宴会や外食も自粛されていることから、総合的な景況感は良くもなく悪くもなくというところである。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・官民共に受注が低調である。
	□	通信業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が再拡大してきており、先行きは不透明であるが、受注等に具体的な影響が出ているような状況ではない。
	□	税理士事務所	取引先の様子	・当県の新型コロナウイルスの感染状況が悪化しており、時短営業等による売上の減少が想定される。
	▲	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・ワクチンを保管する保冷库等の一過性の特需による注文が落ち着いた。
	▲	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・当地域でまん延防止等重点措置が適用されたことにより、移動制限や行動自粛に一段と拍車がかかった状態となっている。従前より8月はお盆休み等の休日が多く閑散期となるが、前年に引き続き新型コロナウイルスの感染再拡大が消費者の購買意欲の低下として作用し、一般消費財を中心とした貨物の取扱物量も著しく減少していることから、景気の回復は実感できない。
	▲	輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・工業製品の輸出は変わらず好調であるが、紙製品の輸出入の減少が大きくなっており、全体的な売上高は減少に転じている。
	▲	通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・前年同時期と比べると売上高は少し改善しているが、3か月前と比べると悪化している。
	▲	金融業（副支店長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染が、これまでにない規模で再拡大しており、当県独自の非常事態へのステージの引き上げ等、消費者動向は極めて鈍化している。
	▲	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置が適用され、一部の客の販売促進広告が急きょ中止になった。
	×	輸送業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、売上が非常に落ち込んでいる。
雇用 関連  (四国)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・当県ではまん延防止等重点措置が適用され、飲食店への時短要請もあり、景気回復には遠い状況である。一方で、県外観光客の人流は増加傾向にあり、宿泊施設は予約が一杯という声も聞いている。ワクチン接種の普及により新型コロナウイルスに対する危機感が薄れ人流が増加したものと予想される。
	□	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・求人数は大きく変わらず、低水準のまま推移している状況である。サービス業界については、依然として厳しい状況が続いている。
	□	職業安定所（求人開発）	採用者数の動き	・求人数については、新規求人数が3か月前と比べてやや増加している。新規求人倍率も若干増加しており、景況が悪化の一途をたどっているとはいえないと判断している。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣勤務を希望する求職者が減少しており、求人と求職者のミスマッチが多くみられ就業に結び付いていない。このため、求人募集に係る経費の回収も難しく、景況が悪くなっている。
	▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・高卒求人について、前年度に比べ求人数を絞る傾向にあり、企業の採用計画にも新型コロナウイルスの影響が見受けられる。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加により、当県もまん延防止等重点措置が適用され、飲食店では時短営業を余儀なくされている。学生の就職状況も前年同時期と比べて改善されているとはいえ、景況はコロナ禍以前の水準まで回復していない。

	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加により、あらゆる広告の案件が延期やキャンセルになっている。
--	---	----------------	------	-----------------------------------------------------